

防災・減災の輪

かがわ自主ぼう連絡協議会
会報 第208号(2024. 6. 1)
事務局 川西地区自主防災会

令和6年能登半島地震 炊出しボランティア実施報告

一般社団法人 さぬき絆隊
第1回炊出し隊 実行委員長
中川 英昭

はじめに

当法人は、自然災害や環境の変化等にあって、主に生活や住環境等の援けを必要とする人たちの支援をする等を目的に、ボランティア及び防災をはじめとする社会活動において経験豊富な岩崎正朔氏を代表理事として、今年3月に設立しました。

今回、その目的に従って能登半島地震被災地炊出しボランティアを2回にわたり実施致しました。

1. 第1回 炊出しボランティア

日 程：2024年3月21日（木）～24日（日）

参加者：山倉、向田、中川、香川、林、谷口、秋山、今島、三浦、小野（10名）

場 所：①輪島市ｽｰﾊﾟｰﾎｰﾑ輪島ｽﾏｰﾙ (パチンコ店駐車場)・・・約160食

②珠洲市立若山小学校 避難所・・・約180食

③七尾市石崎地区コミュニティセンター・・・約180食



① 輪島市ｽｰﾊﾟｰﾎｰﾑ輪島ｽﾏｰﾙ (パチンコ店駐車場)



② 珠洲市立若山小学校 避難所



③七尾市石崎地区コミュニティセンター



第1回 炊出しボランティア隊

2. 第2回 炊出しボランティア

日 程：2024年4月26日（金）～28日（日）

参加者：山倉、向田、香川、吉川、丸岡、眞鍋、長谷川、河野、高橋、津川
丸山、大北 （12名）

場 所：①珠洲市 道の駅すずなり・・・約300食

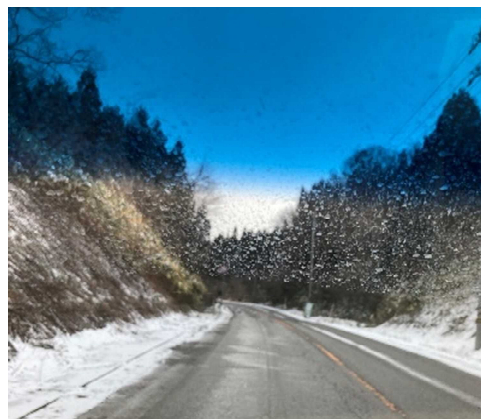
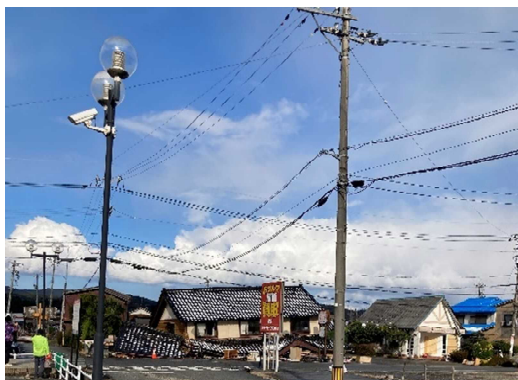


第2回 炊出しボランティア隊

3. 被災地の状況（2024年3月21日（木）～4月28日（日））



輪島市





穴水町



珠洲市



4. 今後に向けて

(1) 被災地への移動について

被災地でのボランティア活動は、4月下旬頃まで金沢市より専用の送迎バスでの活動に限定されていましたが、ようやく道路の復旧も進み現地への車での移動が可能になっています。私たちが第1回の炊き出しを行った時も制限がされていましたが、炊き出しについては被災地との連携で実施することができました。

また、第1回の炊き出しでは3月下旬ということもあり冬型の気圧配置となり、往路では高速道路で敦賀IC以降は冬タイヤ等の規制があり、スタッドレスタイヤや、チェーンの装備がなかったため高速道路を通行することができませんでした。被災地では2日目午前中は雪が薄っすらと積もっているところもありました。今後は、安全に活動するためにも季節に応じた装備の準備をしておかなければなりません。

(2) 炊出しについて

炊出しについての注意点などは、被災地側からチェックリスト等が提示されていました。今回特に注意した点は、上下水道の復旧がされていない中なので、給水と排水をどうするかということでした。給水は被災地で上水が復旧したところから得ることができました。排水処理としては、タンクに貯水した上で金沢市まで持ち帰り、下水道に流して処理しました。今後とも被災地の現状に合わせて対応してゆかなければなりません。

まだまだ、被災地では援けを必要とする人たちがいます。復興の手助けとして今私たちにできることを考え、次に向けて行動してゆきたいと思います。

事務局だより

令和6年 6月

年度が新しくなって約 15 年間、この会報に携わった寒川女史が退任され、うまく軌道に乗れず発行業務に支障ができましたことお詫び申し上げるしだいです。

小生、かがわ自主ぼうのお世話をしながら、このたび全国自治会連合会の第 12 代目の会長に就任しました。

防災活動だけはどんなことがあっても健康である限りお世話したいのが私の信条なので、従来とおりに進めてまいりたいと思っております。関係者皆様のご理解とご支援をお願いするしだいです。

6 月 20 日、東京都町内連合会の総会・表彰式に出席、小池知事のとなり席でツーショットの写真も撮り、知事に引き継ぎのごあいさつもさせていただきました。東京町内会、会員約 1000 万人で人口 1400 万人ですので加入率 71%と高いレベルを誇っています。

役員約 150 人が出席していましたが、レベルの高さに圧倒されそうでした。

香川も四国も東京に負けじと頑張る必要があります。

文責（岩崎）